

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 25 年 2 月 14 日 (2013.2.14)

【公開番号】特開 2010-143576 (P2010-143576A)

【公開日】平成 22 年 7 月 1 日 (2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報 2010-026

【出願番号】特願 2009-290136 (P2009-290136)

【国際特許分類】

B 6 0 T 17/00 (2006.01)

B 6 0 T 8/34 (2006.01)

F 1 6 H 1/32 (2006.01)

F 1 6 H 13/08 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 17/00 D

B 6 0 T 8/34

F 1 6 H 1/32 A

F 1 6 H 13/08 Q

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 12 月 25 日 (2012.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

駆動ユニットであって、モータ軸 (12) を有する駆動モータと、前記モータ軸 (12) 上に配置された少なくとも 1 つの偏心装置 (14, 16, 18) とを備え、前記偏心装置 (14, 16, 18) は、外側で、複数の転がり支承部 (16) に支承された 1 つの支持体 (18) を含んでいる形式のものにおいて、前記偏心装置 (14, 16, 18) は、前記支持体 (18) のための機械的な駆動部 (16, 20, 22, 24) を有していることを特徴とする駆動ユニット。

【請求項 2】

前記機械的な駆動部 (20, 22, 24) は、前記モータ軸 (12) と前記支持体 (18) との間に形成された伝動装置を含んでいる請求項 1 に記載の駆動ユニット。

【請求項 3】

前記伝動装置は、前記駆動軸 (12) に設けられた外周歯列 (20)、前記支持体 (18) に設けられた内周歯列 (24)、並びに前記内周歯列 (24) 及び前記外周歯列 (20) とかみ合う中間車 (22) を備える歯車伝動装置である請求項 2 に記載の駆動ユニット。

【請求項 4】

前記中間車 (22) は、前記転がり支承部 (16) の 1 つと一軸線上に配置されている請求項 3 に記載の駆動ユニット。

【請求項 5】

前記歯車電動装置は、減速伝動装置として形成されている請求項 3 又は 4 に記載の駆動ユニット。

【請求項 6】

前記機械的な駆動部 (16, 20, 22, 24) は、互いに異なる大きさの外径を有す

る 転がり部材（１６）を含んでおり、該転がり部材（１６）は、前記支持体（１８）を、
前記モータ軸（１２）上に支承する請求項１に記載の駆動ユニット。

【請求項７】

前記転がり部材（１６）はニードルころによって形成されている請求項１または請求項
６に記載の駆動ユニット。

【請求項８】

前記駆動ユニットは、自動車の電子スリップ制御可能なブレーキ装置用の液力装置のラ
ジアルピストンポンプの作動のための駆動ユニットである、請求項１から７のいずれか１
項に記載の駆動ユニット。